



▲副市長選任の同意案など5件の議案を審議した市議会第2回臨時会



秋田市旭北錦町
2-32 (56歳)

虻川広見副市長

審議では「北秋田市長及び副市長の選

給与及び旅費に関する条例の一部を改

正する条例の制定」、「北秋田市事業

事業の設置等に関する条例の一部を改

正する条例の制定」、「北秋田市一般

会計補正予算」、「北秋田市病院事業会

計補正予算」、「工事請負契約の変更(北

秋田市情報通信基盤整備工事)」は起

立採決または簡易採決され、賛成多数

でした。

審議では「北秋田市長及び副市長の選

給与及び旅費に関する条例の一部を改

正する条例の制定」、「北秋田市病院

事業の設置等に関する条例の一部を改

正する条例の制定」、「北秋田市一般

会計補正予算」、「北秋田市病院事業会

計補正予算」、「工事請負契約の変更(北

秋田市情報通信基盤整備工事)」は起

立採決または簡易採決され、賛成多数

でした。

【経歴】
 ▽昭和29年大館市糸迦内生まれ▽
 同48年大館鳳鳴高校卒業▽同54年早
 稲田大学政治経済学部卒業▽同年株
 秋田銀行入行▽平成12年山王支店長
 ▽同14年鷹巣支店長▽同17年花輪支
 店長▽同20年監査部副部長▽同22年
 緑上定年退職▽同年丸果秋田県青果
 株入社
 【趣味】▽落語・陶芸

副市長に虻川広見氏を選任

市議会第2回臨時会

市長ダイアリー（抜粋） ◇1月16日～2月15日

- 1月18日(火)▽平成23年北秋田市議会第1回臨時会(議事堂)
- 21日(金)▽あきぎん会(ホテル松鶴)
- 24日(月)▽第133回秋田県種苗交換会北秋田市協賛会総会(交流センター)
- 25日(火)▽北秋田市企業立地推進協力委員懇談会(東京都)
- 26日(水)▽あきたリツチセミナーinOSAKA(大阪府)
- 28日(金)▽新年度予算等市長査定(本庁舎)～2月2日まで▽北秋田市建設業協会新年会(ホテル松鶴)
- 30日(日)▽第4回北秋田市民スキー大会(薬師山スキー場)
- 31日(月)▽街なか賑わいづくり意見交換会(交流センター)
- 2月1日(火)▽北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議(衛生センター)
- 2日(水)▽赤十字災害救援装備贈呈式(本庁舎)
- 3日(木)▽日沿道建設期成同盟会要望活動(秋田市)▽綾子小学校秋田県綱引き大会優勝報告(本庁舎)
- 4日(金)▽合川高等学校閉校記念式典(合川高校)▽珪藻土の新たな活用による地域活性化フォーラム(中央公民館)
- 5日(土)▽きらきらフェスティバル閉会式(米代児童公園)
- 8日(火)▽北秋田市周辺衛生施設組合議会(衛生センター)
- 9日(水)▽鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会・鷹巣阿仁福祉環境部
- 10日(木)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議(森吉庁舎)▽秋田県北秋田支部建築板金組合支部総会(みよし)
- 11日(金)▽第33回北秋田市「建国記念の日」祝う会(中央公民館)
- 12日(土)▽第17回もちつこ市開会セレモニー(太鼓の館前)
- 14日(火)▽北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議(公立米内沢病院)▽市内5中学校スキー部員大会成績報告(本庁舎)
- 15日(火)▽平成23年北秋田市議会第2回臨時会(議事堂)



▲校旗を返納し、49年間の歴史に幕を下ろした市立合川高等学校

市立合川高等学校(齊藤和彌校長、生徒数162人)の閉校式が2月4日、同校で行われ、49年の歴史に幕を下ろしました。

同校は、昭和37年に秋田短期大学附属合川高等学校として旧合川町に開校。同39年には秋田経済大学附属合川高等学校と改称し、新校舎も竣工されました。同47年には秋田県公立合川高等学校に改組され、平成17年には町村合併により、北秋田市立合川高等学校となりました。

そして、今年4月には、同校と市内の県立高校3校が統合し、秋田北鷹高等学校が開校するため、同校は今

度で閉校します。卒業生はこれまでに6826人を数えます。

市立合川高等学校閉校式

「幼児とつくるこれからの保育(大

学コンソーシアムあきた主催)」が1

月29日、北秋田市交流センターで開

かれ、保育士や幼稚園教諭ら約40人

が

「地域に根ざした教育の実践から育まれた幾多の人材が、北秋田市発展の支えになるものと確信しています。これまで培ってきた輝かしい技と心を胸に、秋田北鷹高校の新しい伝統の基礎として躍進していくことを期待します」などと式辞。

続いて、齊藤校長は「本校は、約半世紀にわたり培った地域の若者の夢を育み支援するという、社会的使命を育むことを胸に、秋田北鷹高校の発展こそが私たちの希望となり願いとなります」と語りました。

3年生の植岡海峰さんが「皆さんの中に合川高校が永遠にあり続けますよう願つてやみません。誇りある合川を語り継げる名誉を同窓生として築き上げていくことを誓います」として築き上げていくことを誓いました。

式典の最後に、齊藤校長が津谷市長に校旗を返納、出席者全員で校歌を斉唱し合川高等学校49年の歴史に幕を下ろしました。



▲様々な取り組みで保育実践向上を目指した「幼児とつくるこれからの保育」

「幼児とつくるこれからの保育(大講師の、腰山豊・聖園学園短期大学教授は「幼児とつくるこれからの保育」で確かな保育を願う「心・技・知恵」が参加し、これからの保育の理念や実践力向上の方法などを学びました。はじめに、腰山教授は「保育者は、子どもが反応するような環境をつくり、良い問い合わせをすることが必要。実践的議論を取り入れ、幼児の着実な身辺生活の自立を目指し、演習と生産的討議を通して考え、実践課題の発見と共同研修や自己啓発の方法を学ぶために開かれたもので、保育士や幼稚園教諭らを対象に行われます。」などと生徒を代表してあります。3年生の植岡海峰さんが「皆さんの中に合川高校が永遠にあり続けますよう願つてやみません。誇りある合川を語り継げる名誉を同窓生として築き上げていくことを誓います」として築き上げていくことを誓いました。

このあと、保育士らが自身の保育の自己評価・自己診断をして、課題を見つけて解決に向けて取り組む方法や保育向上のための実践技などを演習を交えて学びました。

このあと、保育士らが自身の保育の自己評価・自己診断をして、課題を見つけて解決に向けて取り組む方法や保育向上のための実践技などを演習を交えて学びました。

6

保育実践力の向上を目指す

「幼児とつくるこれからの保育(大講師の、腰山豊・聖園学園短期大学教授は「幼児とつくるこれからの保育」で確かな保育を願う「心・技・知恵」が参加し、これからの保育の理念や実践力向上の方法などを学びました。はじめに、腰山教授は「保育者は、子どもが反応するような環境をつくり、良い問い合わせをすることが必要。実践的議論を取り入れ、幼児の着実な身辺生活の自立を目指し、演習と生産的討議を通して考え、実践課題の発見と共同研修や自己啓発の方法を学ぶために開かれたもので、保育士や幼稚園教諭らを対象に行われます。」などと生徒を代表してあります。3年生の植岡海峰さんが「皆さんの中に合川高校が永遠にあり続けますよう願つてやみません。誇りある合川を語り継げる名誉を同窓生として築き上げていくことを誓います」として築き上げていくことを誓いました。

このあと、保育士らが自身の保育の自己評価・自己診断をして、課題を見つけて解決に向けて取り組む方法や保育向上のための実践技などを演習を交えて学びました。

6